

栃木県庁働き方改革プロジェクト2021

令和3(2021)年4月27日
経営管理部

栃木県では、少子化による労働力人口の減少が進むとともに「新たな日常」への対応が求められる中、働きやすい環境を整え、県庁全体の労働生産性を高めていくため、「栃木県庁働き方改革プロジェクト2021」に取り組みます。

目指すべき方向：「**県民サービスの向上**」と「**職員のワーク・ライフ・バランス**」の両立

① BPRの視点による 業務の見直し・改善

利用者目線のサービス向上と業務効率化の観点から、BPRの視点による業務の見直しを行い、改善を図ります。

【R3年度取組】

- ・ 庁内業務の分析による業務改善(BPR)実施方針の策定
- ・ BCPの実効性向上(業務の優先順位付けの徹底等)
- ・ PCログ配信を活用した適切な業務管理と効率的な働き方への意識付けの徹底
- ・ 働き方改革等に係る所属長のマネジメント力をチェックするシステムの導入

② ICT利活用による 業務の省力化・効率化

ICTツールの利活用による定型業務の自動化などで作業時間の短縮を図り、職員は付加価値の高い業務に注力します。

【R3年度取組】

- ・ 業務の効率化や業務改善(BPR)実施方針に適したネットワーク環境構想の策定
- ・ RPAやAI-OCRの適用業務数の拡大
- ・ チャットボット(AI自動応答ツール)の導入
- ・ 行政手続のオンライン化(電子申請システム利用拡大、添付書類等見直し)
- ・ 本庁の「物品」や「役務」に係る入札の電子化

③ 柔軟で効率的な 働き方の推進

テレワークやフレックスタイム制などの柔軟で効率的な働き方や、風通しの良い職場環境の整備を図ります。

【R3年度取組】

- ・ ペーパーレス化や電子決裁の推進
- ・ テレワークの定着に向けた環境整備
- ・ 時差出勤やフレックスタイム制の好活用事例の周知

とちぎスイッチ2!
22時完全消灯(20時までに退庁を基本)

職員一人ひとりの気付きと意識改革!